



2022年7月11日
報道関係者各位

プレスリリース Vol.1

4年ぶりの今治、リアル展開催へ

バリシップ 2023 開催決定！

2023年5月25日（木）～27日（土）

テクSPORT今治・旧今治コンピュータカレッジ・フジグラン今治

2021年の開催は新型コロナのまん延でやむなく中止となった『バリシップ』が、2023年5月25日～27日での開催が決定した。会場は前回同様に愛媛県今治市内のテクSPORT今治、旧今治コンピュータカレッジ、フジグラン今治。前回出展ができなかった企業を中心に次回参加の声も続々と集まっており、出展社数 350 社、来場者数 8,000 人の参加が見込まれている。

テーマは「未来の船が、ここにある」

世界規模での環境保護対策が急務となっている中、日本でも国土交通省によって国際海運のゼロエミッションに向けたロードマップが策定され、2028年までの「ゼロエミッション船の商業運航」を目指して業界をあげた取り組みが展開されている。また一方で、海事産業が抱える海難事故の減少、個人輸出入の拡大による貿易ニーズの増加、労働環境の改善、労働力不足などの諸問題に対応すべく、自律運航、自動運行、遠隔検査、IoT、AI などデジタル技術を活用した DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進も業界にとっての欠かせない課題となっている。この「環境保護対策」と「DX」は、今年4月に東京で開催された『Sea Japan 2022』でも大きなテーマとなっており、セミナーや出展社ブースでの展示など、様々な製品、技術、データが発表された。

『バリシップ 2023』では、その2つのテーマをキーポイントにするとともに、未来に運行する船舶を作る製品や技術がすでに現時点で存在し、バリシップに集まり、そして出展社および来場者がその情報を入手できるような展開を目指す。

バリシップ2023

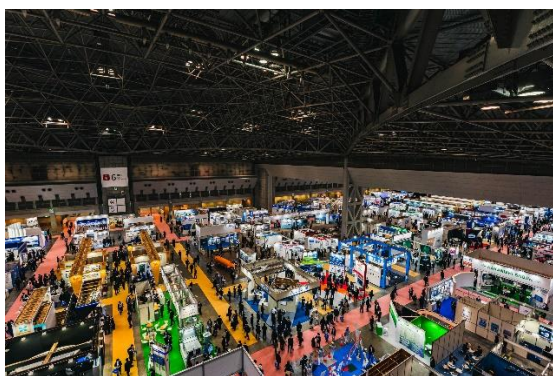
BARI-SHIP IMABARI MARITIME FAIR

リアル展の開催だからこそできること

『Sea Japan 2022』はコロナ禍にも関わらず、18,000 人を超える業界関係者が参加。海外からの参加が制限された中で、国内から多くの関係者が参加し、活発に商談が行われた。またブース内だけでなく、セミナーや出展社プレゼンテーションも大きな賑わいが見られた。

リアル展示会だからこそ伝えられる展示物の大きさ、情報、技術、感情があり、『バリシップ 2023』でもリアル開催をすることで、今治そして西日本の現場で活躍するプロフェッショナルとの商談が 4 年ぶりに行われるの貴重な機会となる。

Sea Japan 2022 の模様



他の写真は以下より参照。ダウンロードの上、使用可能。

https://www.seajapan.ne.jp/photo-album_jp/

【出展対象】

造船／船舶修理／船舶技術／軸系及びプロペラ／係船・荷役機械／船用ボイラー／冷凍機・空調装置／発電機・電動機／公害防止機器・環境保護／塗料・塗装機器／安全設備・防火設備／ディーゼル機関及び推進装置／ディーゼル機関の部分品・付属品／配電盤・起動器・制御器／電気器具／熱交換機／油圧機器／油処理装置／空気機械／ポンプ／船用タービン／弁・管継手／計器類／船用燃料・潤滑油／操舵・操船装置／錨・錨鎖・ロープ／居住設備／航海計器・通信機器・電波計器／コンピューターシステム及びソフトウェア／港湾局・港湾管理者／港湾設備／海洋開発／洋上風力発電／ワークボート／他海事製品・サービス全般



【開催概要】

名称：バリシップ 2023 (Bari-Ship 2023)

日程：2023年5月25日(木)～27日(土) ※27日(土)のみ一般来場者も入場可

時間：10:00-17:00 ※最終日のみ 16:00まで

会場：テクスポート今治・旧今治コンピュータカレッジ・フジグラン今治

入場料：無料

主催：インフォーマ マーケッツ ジャパン株式会社

特別後援：今治市、今治市海事都市交流委員会

後援：(予定)：国土交通省、(一社)日本船主協会、日本内航海運組合総連合会、
(一社)日本造船工業会、(一社)日本中小型造船工業会、日本船舶輸出組合、
(一社)日本舶用工業会、(一財)日本海事協会

【お問い合わせ先】

インフォーマ マーケッツ ジャパン株式会社

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-8-3 神田 91 ビル

担当：平原・関根・両角

TEL：03-5296-1020 Email：info@bariship.com

URL：www.bariship.com

